

官報

號外 昭和二十一年八月八日

貴族院議事速記錄第十七號

昭和二十一年八月七日(水曜日)午前十一時五分開始

議事日程 第十七號

昭和二十一年八月七日

午前十一時開始

一 政府出資特別會計法第二十一法令の改正等に関する法律案(政府提出、衆議院通過)

○議長(公卿徳川家正君) 諸般ノ報告ハ御議院ガナレバ願フ省略致シマス

○議長(公卿徳川家正君) 是ヨリ本日は會議ヲ閉キマス、去ル二日正位勳章ヲ賜フ皇族ノ至リニ堪ヘマセ、就キマシテハ用辭ヲ贈リタイト存ジマス、御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公卿徳川家正君) 御異議ナシト認メマス

昭和二十一年度特別會計法外二十一法令算追加案(特種二號)

同日委員長ヨリ左ノ通分科擔當委員及衆務委員ヲ選定シタル旨ノ報告書ヲ提出セリ

豫算委員 種田 虎雄君

第四分科擔當委員 片岡 直方君

豫算委員 片岡 直方君

第一分科擔當委員及第四分科擔當委員

一昨五日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

政府出資特別會計法外二十一法令の廢止に關する法律案可決報告書
本日各部ニ於テ常任委員ノ補選選舉ヲ行ヒシニ其ノ結果左ノ如シ

第一部
諸般委員種田虎雄君ノ補選トシテ板谷順助君當選

第三部
決算委員片岡直方君ノ補選トシテ柳本嘉郎君當選

○議長(公卿徳川家正君) 是ヨリ本日は會議ヲ閉キマス、去ル二日正位勳章ヲ賜フ皇族ノ至リニ堪ヘマセ、就キマシテハ用辭ヲ贈リタイト存ジマス、御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公卿徳川家正君) 御異議ナシト認メマス

○議長(公卿徳川家正君) 日程ニ移リマス、政府出資特別會計法外二十一法令の廢止等に関する法律案、政府提出、衆議院通過、第一讀會ノ續、委員長報告、委員長古市男爵

昭和二十一年八月五日

委員長 男爵古市 六三

貴族院議長公卿徳川家正君

○議長古市六三君 只今上程ニ相成リマス、政府出資特別會計法外二十一法令の廢止等に関する法律案ノ委員會ノ審議ノ經過並ニ結果ヲ御報告申上ゲマス、本委員會ハ第一回ヲ去ル八月一日ニ、第二回ヲ同日ニ、第三回ヲ五日ニ開キマス、先ツ政府委員カラ提案ノ理由ニ付テ御説明ガアリマシタ、即チ第一ハ特別會計法ノ廢止等ニ付テデアルマス、其ノ一ハ、特別會計ハ出來ルベク減少シ會計制度ヲ簡明ニスルベクテ政府出資及經營用資金ノ特別會計ヲ廢止スルコト、其ノ二ハ、終戦ニ伴ヒ存置ノ理由ヲ全ク失フタモノ、即チ舊陸海軍關係ノ五特別會計ト所謂外地關係ノ十特別會計ヲ廢止スルノデアリマシタ、茲ニ廢止トナリマシタ臨時軍事費特別會計ヲ加ヘマスト、前年度ニ比シマシテ十八ダケ減少シ、昭和二十一年度ニ於テハ特別會計ノ數ハ二十二ト相成ルノデアリマス、第二ハ特別會計法ノ一部ノ改正デ、之ヲ分ケテ見マス、内閣ガ七通りニナリマス、其ノ一ハ、只今申上ゲタ第一ノ特別會計ノ廢止ニ伴フ所要ノ改正デアリマス、其ノ二ハ、特別會計ノ收入事務取扱機關ノ實情ニ照シ當分ノ間之ヲ容續セシメ從來通り會計事務ノ簡捷ヲ圖ルモノデアリマス、其ノ三ハ、廢止發行ノ限度ニ關スル改正、其ノ四ハ、同會計ノ將來ニ於ケル決算上ノ損失ヲ一會會計ヨリ補填シ得ル途ヲ開キ同會計ノ運轉ヲ一層簡便ニスルコトデアリマス、其ノ五ハ、通信費特別會計ノ一部ノ改正、其ノ六ハ、公債ヲ財源トシテ辨別得ル經費ノ範圍ヲ擴張スル爲メ同特別會計法第二條ノ所定ノ改正ヲ行フモノデアリマス、最後ノ第七ハ、發債費ヲ以テ支辨シ得ル事由ノ範圍ヲ擴張スルモノニ付キ二三ノ改正ガアリマス、第三ハ、政府ハ毎會計年度ノ國有財産増減總計算書ヲ作ツテ會計院ニ檢査ヲ經テ帝國議會ニ報告スルコトニナツテ居リマス、昭和十九年度分ノ増減總計算書ハ豫算等ニ依リ其ノ額ガ困難デアリ、其ノ増減ガ十九年度ノモノカ二十年度ノモノカ區分ノ不明瞭ノモノモ相當件數ニ上ルトノ豫想ガアリマス、昭和二十一年度ト一括シテ帝國議會ニ報告スルヤウニ國有財産法中ニ改正ヲ加ヘタノデアリマス、最後ニ第四ト致シマシタ、本年二月末日限り臨時軍事費特別會計ガ廢止ニナリマシタノデ、臨時軍事費特別會計ヘノ繰入レテ一般會計ヘノ繰入金ニ充當スル爲メ所定ノ改正ヲ行フモノデアリマシタ、大別シテ第一ヨリ第四ヨリ互ル廢止又ハ改正デアリノデアリマス、是ヨリ質疑應答ニ付テ申上ゲマス、一委員ヨリ、特別會計廢止ニ付キ其ノ會計ニ屬スル未決済ノ債權債務ハ如何ニ處理スル方針デアルカ、之ニ對シ政府委員ハ、原則トシテハ特別會計ノ剩餘金ガ出ル場合ニハ一般會計ニ

之ヲ繰入トシテ、又不足ノ出ル時ハ一般會計ニテ決済スル、但シ所謂外地ノ特別會計收支ハ終戦ニ伴ヒ見込不明デ、此ノ處理ハ國際關係モアリ、日本政府ノミデハ出來ナイト考ヘラレマス、ルガ、相當影響ヲ受ケルト考ヘラレマス、内地ノ株式ニ付テハ目下ノ處、缺損ヲ生ズルト云フ風ニハ考ヘテ居リマス、モストノコトデゴザイマス、一委員ヨリ、特別會計ノ廢止シ、會計制度ヲ簡明ニスルコト云ツテモ、實際ニ必要ガナクナツタモノガアリ、現在トウナツタ居ルカ一向分ラナイ狀態デアルノモアリトスレバ、果シテ是ガ簡明ナラシメ得ルカ疑問デ、寧ろ此ノ際ハ外地ノ分ラヌ現狀ヲ大體國民ノ常識ガ當ケル程度ノコトデモ示サレハコトガ要ナコトト思ハレ、今急イデ廢止ヲサレハ必要ハナイデハナイカ、政府ガヤツタコトニハ責任ヲ持ツト云フコトガ最も大切デ、此ノ廢止ニ依リ責任ガ濟ンダト云フコトニハナラナイ、之ニ對シマシタ、昭和二十一年度ニハ全然新シイ收入モ支出モナク、十九年度ト二十年度トニ收支ガアリソレガ現在狀態不明デアリマス、出來ルダケ早ク分ラセ、決算ヲ議會ニ提出スルヤウニ考ヘテ居リマス、尙外地ノ會計ノ收支ノ中間的ノ説明ハ、歸還シテ來ル職員、其ノ他ガ全ク書類ノ携行ヲ禁止セラレ、其ノ斷片的ノ記憶ニハ相當ノ喰違ヒガアリ、ソレ等ヲ基礎トシテ御報告モ出來難キマス、外地官廳ノ東京出張所トハ常ニ連絡ヲシテ居リマス、茲デモ分ラナイ狀態デ、誠ニ遺憾トスル所デアリマス、又將來ハハナキリシ得ルカノ見込ニ付テハ、講和條約トモ關係ガアリ、當時ノ日本ノ收支ガ必

官報號外 昭和二十一年八月八日

貴族院議事速記錄第十七號 議長ノ報告

會議 政府出資特別會計法外二十一法令の廢止等に関する法律案 第一讀會ノ續

問題ニナル時期ガアラウカト考ヘラ
ズマスルノデ、日本政府ノ方ニモ其ノ
資料ヤ數字ガ入手出來ル時期ガ來ルノ
デハナキカト目下ハ考ヘテ居リマス、
尙此ノ特別會計ヲ廢止シテモ、附則第
十二條デ、從來收支シタ分ニ付キマシ
テハ特別會計法ハ效力ヲ持ツテ居ルノ
デ、後デドウナルカ分ミナイ、有耶無
耶ニナルト云フヤウナコトハゴザイマ
セヌトコトデアリマス、陸海軍關係
ノモノハ次ノ議會ニ提出スル趣デアリ
マス、一委員ヨリ、現在日本政府ノ保
有正貨ト云フハ、金地金、外貨ノ合計
ト見做シテ宜シキヤト思フガ、是等ハ賠
償金ノ對象物トシテ現在一應聯合國側
カラ移動ヲ禁ジラレテ居ルカト云フ實
問ニ對シマス、政府委員ハ、日本デ
持ツテ居リマスモノハ、政府デナク日
本銀行デ相當ノ金地金ヲ從來持ツテ居
タ譯デアリマシテ、此ノ兩者トモ今日
デハ聯合國最高司令部ノ方カラ移動ヲ
金ト禁止サレ、凍結サレテ居ル狀態デ
アリマス、トコトデアリマス、同委員
ハ、現在對米爲替トシテ扱ハレテ居ル
「ドル」對十五圓ハ暫定ノモノトハ
思フガ、實際「ドル」賣買ハ遙ニ高ク
六十圓トカ七十圓トカ開イテ居リマ
ス、將來此ノ金地金ヲ正貨化スルニ伴
ヒ對米爲替ト云フモノガドシナ所ニ落着
クカト見込ニ付テ間ヒ賣サレマシタ、
之ニ對シ、現在ニ於テハ日本通貨ノ對外
價值、爲替ハナインデアリマス、一
「ドル」十五圓ハ、唯米軍ノ部隊内ニ於
テ一應換算率ヲ使ツテ居ルノデアリ
マシテ、別ニ「ドル」日本圓トノ爲替
相場ヲ定メタモノデハナインデアリマ
ス、將來爲替相場ガドウナルカト云フ
コトハ、結局日本全體ノ經濟力ガ、輸
出能力、輸入ノ必要ト云フ風ナモノ、

更ニソレトノ國內ノ物價水準ノ問題
ナドガ綜合サレタ結果、ソコニツノ
爲替相場ガ生レテ來ルモノト考ヘテ居
リマス、勿論金ヲ持ツテ居レバ國際貨
借ノ收支ハ決済ニ極メテ便宜デアルト
云フコトハゴザイマス、更ニ一委員ヨ
リ、政府出資ノ外地關係ノモノハ賠償
ニ取ラレ殆ド只ト見ナケレバナラツト
思フガ、内地關係ノ爲替ハ凍結サレ、
中ニハ官僚統制ガ廢止セラレテ民營ニ
移ルヤウナモノモアル、是等整理ニ付
テノ案ヲ承リタイ、又是等會計ニ對ス
ル補助金ハ全面的ニ打切ラレマスカト
云フ間ニ對シマス、政府補助ニ依ル
會計ノ補助金ハ打切リマス、整理ノ問
題ハ、今議會中ニ出マス軍需補償ノ打
切リニ依ツテ行ハレマスガ、政府自體カ
ラ或特殊會計ノ整理ヲ進メテ行クコト
ニハ、只今サウナツテハ居リマセヌ、
又財閥會計ノ整理ハ、特殊整理委員會
ガ出來テ整理サレマス、只今政府ガ積
極的ニ決メテ居ルノハ、其ノ特殊會計
ノ整理ノ範圍内ニアル財閥會計ノミデ
アルトコトデアリマス、一委員ヨリ、食
糧管理特別會計ノ收支狀態ニ付テ實問
ガアリマシタ、之ニ對シ、最近米ノ買
上價格ハ相當引上ゲラレ、販賣價格ハ
出來ルダケ低目ニスルト云フ政策ニ依
リ、今日ニ於テハ相當巨額ノ缺損トナ
リ、此ノ七月末ニハ概ネ四十五億圓ニ
達スルノデハナインデアリマス、之ヲ
賄フ食糧證券ノ償還ノ財源ガナク、仍
テ此ノ法律案ノ第五條ノ所デ食糧管理
特別會計法ノ一部ヲ改正シ、其ノ附則
デ、證券中四十五億圓ヲ限リ一般會計
ニ移シテ一應整理ガ付クヤウニシテア
ル、又米穀ハ三百萬基ヲ買入シテ二
百五十萬圓ヲ標準トシテ賣リ渡スノデ五
十圓ノ開キガ出マスガ、是ハ一種ノ

補助金デ一般會計カラ食糧管理特別
會計ヘ缺損ヲ見テ之ヲ補填シテ毎年
整理シテ行クヤウニ其ノ法案ヲ第五
條中ニ含メタトコトデアリマス、
同委員ハ四十五億圓ハ殆ド赤字ト思フ
ガ、一般會計カラ補助金ガ一體將來見
込ミガアルノデスカ、此ノ法案ノ前々
ハ米穀補給調節特別會計法昭和二、三
年カラ四、五年頃農家ガ米ガ安ク困
ツテ之ヲ救済スル爲ニ政府デ買ツテ賣
給調節ヲシタノデアリマス、今日
ハ全ク反對ノ消費者ニ安ク賣ツテヤル
建前ニナツテ居ル、此ノ間ニ對シマス
テ其ノ會計ガ自主自辨シ得ル能力ヲ何
時出シ得ルカハ物價政策、經濟安定問
題トモ關聯シ、何時迄續クナケレバナ
ラスカト云フコトハ分リマセヌトノ答
ガアリマシタ、又郵便年金、簡易保
險等外地方面ヘノ投資ノ整理ハ如何、
預金者ヘノ影響如何、ト云フ間ニ對シ
マス、外ニ於ケル投資總計五億
三千四百萬圓ハ恐ラク賠償ニ向ケラレ
ルコトト思フ、併シ保險金ノ削減ノ如
キ基本的權利ノ侵害ハ極力避ケ、民間
保險ニ於ケル利益相當ニ補償スル長期
還附金、或ハ長期還附金ハ還シテ賣
ケレバナラヌト思フテ居リマス、此ノ
兩者ニ對シテ充テル獨立金ハ約八億圓
リマス、トコトデアリマス、又外地デ
昨年九月三十日以前ノ貯金シタ者ハ一
箇月五百圓ノ範圍ガ拂戻シ、軍事郵便
貯金ハ一千圓ヲ一回限リ拂戻ス、其ノ
外ハ當分拂戻ヲ停止シテ更ニ十月一日
以降ニ於テ外地ニ預入レ、引揚ゲテ賣
タ人ニ對シテハ拂ハナインデアリマス
ナツテ居リマス、是等ハ九月二十三日
ノ指令ニ基クモノデ此ノ制限緩和ヲ常
ニ機會アル毎ニ懇請シテ居リマスガ、
目下見込ミガアリマセヌト云フコトデ

ゴザイマス、次ニ現在特別會計ノ殘ツ
テ居ルモノ「十二」アリ、中ニハ目的内
容ガ變更サレル場合、一部ノ改正ヲヤ
ルモノガアルガ、益々複雑ニナル、廢
止スベキハ廢止シ、立法スベキハ立法
セヨト云フノニ對シマス、政府委員
ハ元來特別會計ハ一般會計ニ對スル例
外デ、理應ハ少イノ限リ、一般會計
ヲ見レバ國ノ財政ノ活動、國家活動ノ
全貌ガ分ルト云フノガ理想デアリマス
ルガ、目下ノ所デハ更ニ整理スルトシ
テ考ヘラレモノハ學校ノ特別會計デ
アラウト思ヒマス、トコトデアリマ
ス、一委員ヨリ政府出資ノ株式ノ未拂
込或ハ營團ノ未拂ガ清算事務ニ入ツタ
場合ニソレガ徴收サレル、此ノ整理ヲ
ドウスルカ、又内地ノ特殊會計ニ政府
ハ相當ノ補助金ヲ出シテ居ル、之ヲ打
切ラレト政府以外ノ政府ノ勸誘ニ依
ツタ株主ハ非常ニ迷惑サスル、政府ハ
政府ノ特殊會計打切リ、會計内容ヲ堅實
ニシナケレバナラヌト思フ、之ニ對シ
マシテ政府ノ株式後援株主一定ノ民間
株主一定ノ保證デスル爲ニ、政府ハ補
給金ヲ交付スルトカ、配當補助金ヲ交
付スルヤウニナツテ居リマス、終
戰後國內經濟ノ民主化ト云フ觀點カラ
政府ノ出資ニ付テモ民間ノ株式同様
ノ立場デ權利義務ヲ負擔スルノガ適當
デアルトノ關係方面ノ意向デ、別途法
律案ヲ提出スルコトニ致シマス、又
軍需補償デハ總動員法ニ依リ否應ナシ
ニ設備シタモノヤ、契約解除ノ補償金
ナドモ同様之ヲ打切リ處置ニスルノデ
アリマス、ト御答辯デアリマス、一委
員ヨリ第十條ノ地方鐵道運賃ノ値上ノ
收入ヲ平時輸送力増強ノ理由デ一般會
計ニ納入レルコトハ、法ノ精神トシテ
ハソレデケデハ濟マサレヌト思フ、地

方鐵道ハ何レモ瀕死ノ狀態デアアル、寧
ロ地方鐵道ノ收入ハ其ノ鐵道ニ入レテ
改修ヲ圖ラシメテハドウカ、尙鐵道通
信各特別會計ノ多額ノ赤字ノ會計内
容、赤字ノ主ナル原因ヲ知リタイ、ト
ノ質問ニ對シマス、地方鐵道ノ補助
法ト上納金制度ト合セ今後ノ計劃ヲ樹
テ、地方鐵道モ鐵道同様資材ノ邊
際、從業員ノ待遇改善、職災回復ニ備
ミガアル、今後ハ十分助成ニ努メ、
運賃改定モ認メ、資材ノ斡旋ヲスル、
補助法ハ來年度以降適用出來ヌカラ、
上納金制度ト合セ七次ノ議會ニ法律案ヲ
提出スル、赤字ノ主ナル原因ハ物價ノ
高騰、給與ノ増加ノ爲デアリマスガ、
將來ノ經營ノ合理化ハ徹底的ニヤルト
ノコトデアリマス、更ニ一委員ヨリ運
賃値上ハ大藏省、商工省モ賛成ナド
スカ運賃値上リ分ガ色々ノ製品ノ値上
リトナル、鐵道運賃ハ通賃ノ値上リ
分ガ公定價格ノ改定ノ時ニ常ニ突當
ル、總テ官業ノ値上ヲ計畫スル際ハス
グ物價面ニ影響スルカラ、ヨク物價局
アタリトノ了解ヲシテヤツテ賣セタ
イ、今後物價ノ生産スルヲ必要トスル時
ニ非常ニ支障ヲ來タストノ注意ト希
トガ發セラレマシタ、次ニ政府出資
特別會計ニ依ル株式中未拂込金ハ補償
打切リ等ノ場合ハドウスルカ、政府ノ資
産ハ一稅ハカカラヌカラ一般補償打切
リト同一歩調ヲトルノハ不當デアル、政
府ハ持株ヲ整理シ、各株主ニ大シタ損
害ヲ與ヘヌヤウニスル責任ガアルト思
フ、之ニ對シマス、外地關係ハ分ラナ
イガ、内地關係モ影響大ナリト思ハレ
ル、補償打切リト同一歩調ヲトルコトト
ナル、一委員ヨリ農林大臣ニ對シ食糧
等管理特別會計ノ改正案ニ依レバ、當
分ノ間其ノ損失ヲ一般會計ヨリ補填ス

ルト云フガ、本年度四十五億、明年度二十億ノ主要食糧費計上サレテ居ル、當分トハイワ迄ノコトカ、將來是ガドウ始末スルカト云フ質問ガアリマシタ所、農林大臣ハ日本ノ食糧事情ハ急ニ圓滑ニナルト考ヘテ、來年農作デモ或程度ノ輸入ニ待タネバナラヌ、米穀需給制度ノ調節ニ依リ生産ト消費ヲ配合セテヤルトノ御答ヘデアリマシタ、更ニ同委員會ハ、此ノ四十五億ガ最も有効ニ使用サレルカドウカラ疑フ、配給統制ノ不備ニ關シ増長スル、凡ソ物價ハ米價ガ基準トナル、供出後ハ自由販賣ガ宜イト思フ、尙開墾ヲ殘ツテ居ル所ハ良イ所ハ餘リナイカラ、工業ニモ力ヲ入レ安イ米ヲ外國カラ買入レ、水産ニ付テモ水産局ノ豫算ガ少ナイ、宜シク海洋立國ヲモ考ヘラレト申サレマシタガ、農林大臣ハ、數字ノ上ダケデハ供給需要ハ充シ得ヌ、國民ハ各、其ノ所得ニ依ツテ買ツテ居ル、主食物ハ出來ルダケ平等ニ分配シテ安心ヲ與ヘネバナラス、目下供出ノ成績ガ惡イノデ配給操作ガウマク行カヌ、今日程度ノ窮乏ノ時ニ粹ラ外スト、所得ノナイ者ハ饑ヘ、買ヘル人ハ萬金ヲ出シテモ、買フヤウニナリマシテ價格ノ混亂ヲ來ス、供出割當モヤレナクナル、今後失業者ノ激増スルヤウナ時ニ自由經濟ヲ採用スルコトハ出來ヌ、生産ト販賣ヲ十分考ヘテヤラネバナラス、農家ノ大半ハ保有農家デナク飯米農家デアルノデアル、今後ノ開墾地ニハ從來ノ方式ニ因ハレヌ農業經營ヲ要スルト思フ、開拓研究所ヲ作り、適地ノ調査ヲ行ヒ、委員會ノ決定ヲ待ツコトニスル、尙失業問題モ併セテ考ヘネバナラストノ御答ヘデアリマシタ、占領軍費用ノ經理ヲ買シタノ

ニ對シマシテ、政府委員ハ、進駐以來昨年度末迄ハ其ノ歸屬ガ不明デ、占領軍デ持ツノカ、或ハ日本政府負擔スルノカモ分ラナクツタ爲ニ、日本銀行占領軍關係ノ假勘定トシテアツタ、其ノ後總司令部ヨリ占領費ハ賠償費ニ優先スル、即チ結局日本政府負擔スルト云フコトニナツタノデアリマス、終戰處理費ト總務スルトノコトデゴザイマス、次ニ占領軍ノ工事ハ極メテ粗雑ナ支拂方法ヲ取ルノデ、一般勞銀等モ影響ヲ受ケ最近著シク高クナリ、生産増強ニ響キ、「インフレ」ヲ促進スル懸念ガアル、特別會計ヲ設ケ政府ガ責任ヲ以テ監督シ慎重ナ整理ヲ圖ツテハ如何カトノ疑問ニ對シテハ、大藏大臣ノ速記ヲ中止シテノ御答辯ガアリマシタ、次デ一委員ヨリ、外地關係ニテ朝鮮總督府ノ如キニ未拂金ガアル、其ノ爲ニ多クノ土木業者ハ困窮ノ極ニアル、請負業者ハ企業者ト勞務者ノ中間機關ノヤウナモノデ企業者ノ爲ニ賃銀等ノ代辨ヲシテ居タ、而モ企業者カラノ支拂ヒハナク、外地預金ハ凍結サレ手モ足モ出ナイ名狀スベカラザル慘狀ヲ呈シテ居ル、速カニ支拂ヒヲスル方法ハナイカ、窮乏ヲ救ハネバナラス喫緊ノコトト思フ、之ニ對シマシテ大藏大臣ハ、誠ニ同情ニ堪ヘマセヌガ、外地ニアルモノハ如何共出來ナイ、又内地ニ送金サレタモノモ凍結サレテ居ル、殘念ナガラ日本政府トシテ力及バヌ狀況ニアリマス、仍チ内地方面ニテ更ニ土木事業ニ努力シ、生産資金ヲ受ケルヤウニスルコトヲ望ムデ居ル、一人當リ三千圓ノ生産資金ヲ庶民金庫ヨリ金融シ得ルヤウニナツタノモ相當ノ骨折デアツタトノコトデアリマス、其ノ外ニ毎回熱心ナル質疑、懇切

ナル答辯ガアリマシタガ、速記録ニ讀リマス、速記録ヲ御覽願ヒタイノデアリマス、斯クテ質疑應答ヲ終リ討論ニ移リマシタ處、一委員ヨリ、特別會計ハ今同多數整理サレルガ、尙二十二議存スル、今後ハ成ルベク其ノ數ヲ減少シ、會計ヲ簡明ニシ、近年改正ニ次デ改正デ明瞭ヲ缺カガ、今後ハ其ノ內容ガ變レバ全文ヲ廢シ、新タニ全文ヲ立法スルヤウニ希望シテ賛意ヲ表サレマシタ、更ニ一委員ハ軍關係ヤ外地關係ノ特別會計ノ整理ノ困難ナコトハ認メルガ、單ニ計數的ニ辻褄ヲ合スコトノミデナク、嚴正ナル態度ヲ以テ臨ムハ勿論、政府ノ責任ヲ明カニシ、出來ルダケ早ク內容ヲ國民ニ知ラセテ貰ヒタイ、斯クシテコソ政府ニ對スル國民ノ信頼感ガ昂メラレルト意見ヲ陳ベテ本法案ニ賛成ニナリマシタ、採決ノ結果、全會一致本法案ハ通過可決トスベキモノト決定ヲ致シマシタ、以上御報告ヲ申上ゲマス

○議長(公爵德川家正君) 別ニ御發言モナクレバ、本案ノ採決ヲ致シマス、本案ノ第二議會ヲ開クコトニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家正君) 御異議ナシト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ本案ノ第二議會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵梅園篤彦君 贊成

○議長(公爵德川家正君) 西大路子爵ノ動議ニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家正君) 御異議ナシト認メマス

○議長(公爵德川家正君) 御異議ナシト認メマス

議會ヲ開キマス、御異議ナクレバ、全部ヲ問題ニ供シマス、本案全部、委員長ノ報告通りデ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家正君) 御異議ナシト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ本案ノ第三議會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵梅園篤彦君 贊成

○議長(公爵德川家正君) 西大路子爵ノ動議ニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家正君) 御異議ナシト認メマス

○議長(公爵德川家正君) 御異議ナシト認メマス

○議長(公爵德川家正君) 本案ノ第三議會ヲ開キマス、本案全部、第二議會ノ決議通りデ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家正君) 御異議ナシト認メマス、次會ノ議事日程ハ、決定次第報ヲ以テ御通知ニ及ビマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午前十時三十九分散會

定價 一部 七十錢

發行所

東京都麹町區大手町
電話 丸ノ内三三二
振替東京一九〇〇
印刷局
國畫課